

千本桜 Senbonsakura

敷名を南から北へ、川の穏やかな流れに沿って描く自然の曲線にまかせて咲く美波羅川の千本桜は、多くの人に感動を与える春の風物詩として桜花郷をなしている。



聖橋 Hijiribashi

昭和30年代までは美波羅川に架かっていた吊り橋も珍しくありませんでしたが、時代とともに近代化され、今では三次市の吊り橋は、唯一「聖橋」だけが残り美波羅川の桜の開花にあざやかな景観をなしている。



照円寺の孔雀松 Kujiyakumatsu

照円寺本堂前の右手にある、樹齢300年のクロマツの巨樹は、庭園木として見事に育てられ、その姿があたかも孔雀が翼を広げたように見えるところから、先代住職の松茂道範氏によって「孔雀松」と命名された。

昭和52年4月三和町天然記念物に指定され、現在は三次市天然記念物として地域の人々により大切に守られている。



比治山学園からまつ学寮 Karamatsugakuryou

からまつ学寮の前身である旧上山小学校は、明治7年の開学、その後尋常小学校、国民学校等を経て昭和22年学制改革により上山小学校となり、昭和48年には三和小学校へ統合された。

大正7年に建築された校舎は統合後もそのまま残され、昭和49年比治山学園からまつ学寮として引き継がれて現在に至る。

校庭にそそり立つからまつは明治35年に植樹され、3000名を超える卒業生を見送った。平成14年にはからまつ百年祭が開催され、多くの卒業生や関係者が集いその雄志をたたえ長寿を祝った。

(「三和小学校百年誌」「唐松百年誌」による)



Furusatomura 広島ふるさと村

昔の農家をイメージした木造りの宿泊施設。建物の外壁は白漆喰壁で統一され、内部は木の曲がりやを活かした大きな梁が特徴。

部屋は全て和室で1階は32畳の大広間、2階は6畳が2部屋、8畳が2部屋、24畳が1部屋の計5部屋。

田舎の自然環境を活かして、スポーツや音楽合宿、研修の場として、多く利用されている。



潜り岩 Koguriwa

芸藩通志名所欄の潜り岩は、大岩が節理面に割れた双岩が相寄り、天然の石門を造り、中に鳴岩と呼ぶ石があり、回し動かすとゴロンゴロンと鳴り、幸せに鳴るといふ。往古より嚴島神社、一の木姫此の地に在り、小楢山の頂に植えし瓢の瓜を取り瓢船を造り安芸国嚴島に渡ったという。

別書の瓊瓊杵尊大土山に天孫降臨し、神々を従え、出雲国に出生したとある。

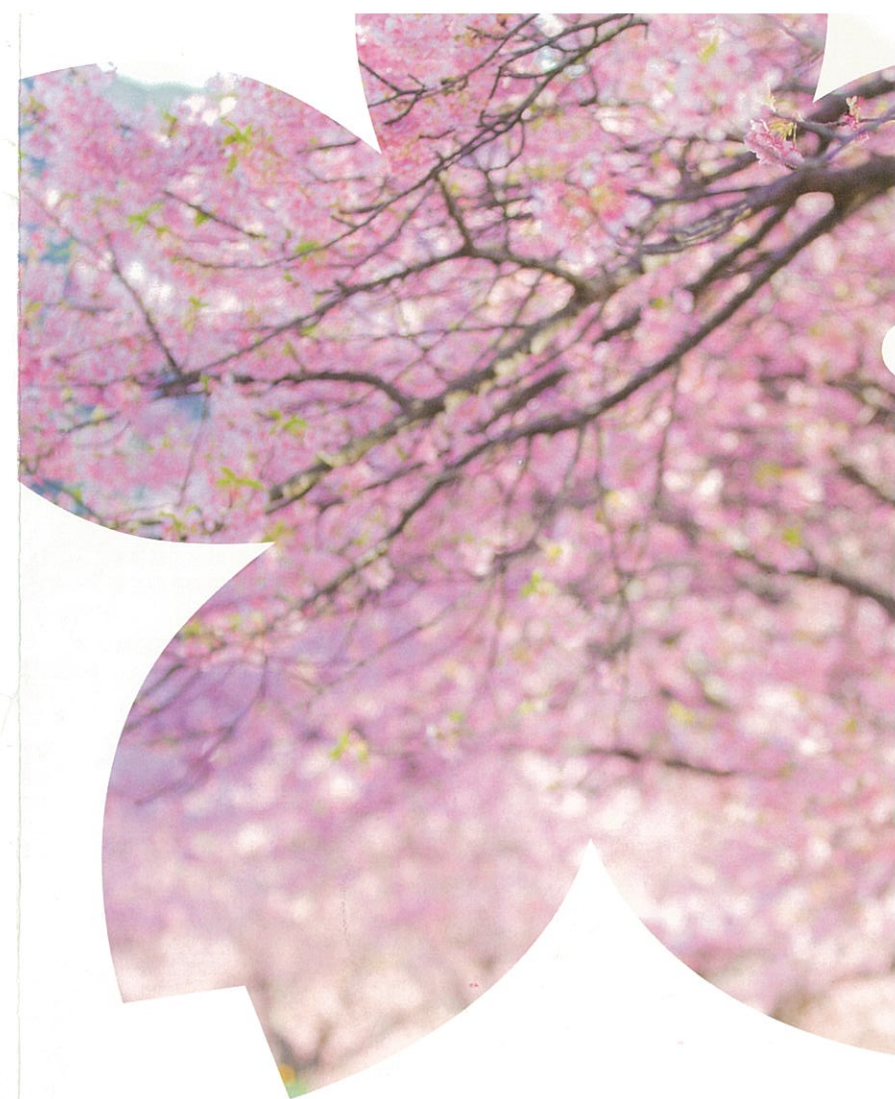


交通

- JR芸備線甲立駅から車で10分
- 中国自動車道三次インターチェンジから国道375号線を東に約25分
- 中国やまなみ街道世羅インターチェンジから30分
三良坂インターチェンジから20分

三和町自治連合会

〒729-6615 広島県三次市三和町上板木 504 番地
みわ文化センター内
TEL・FAX(0824)52-7086



みわガイドマップ